

シグマ研究委員会核データ専門部会
ガンマー線生成核データW.G. 第1回会合議事録

日 時 昭和54年5月31日(木) 13:30 ~ 17:30
場 所 原研本部 第35会議室
出席者 浅見哲夫, 水本元治(原研), 川合将義, 吉田 正(NAIG),
河北孝司(MAPI), 播磨良子, 井頭政之, 北沢日出男(東工大)

配布資料

- (1) 原子炉設計におけるガンマー線生成核データ, 日本原子力学会誌,
Vol. 21, No. 5, 3 (1979)
- (2) JENDL - 1 及び JENDL - 2 収納核種リスト
- (3) ガンマー線生成断面積検討小委員会の答申案コピー
- (4) ENDF/B-V に収納されるガンマー線生成核データを含む核種リスト
- (5) 昭和54年度ガンマー線生成断面積W.G. 作業計画書(昭和54年5月11日シグマ
研究委員会へ提出したもの)

議 事

- (1) W. G.メンバーの所属及び現在の主な仕事の内容の紹介を行なった。
- (2) ガンマー線主生成断面積検討小委員会の答申案の内容の紹介及びW. G. 発足の経過報告を行なった。
- (3) 昭和54年4月から昭和57年3月まで評価作業を行ない, 昭和57年4月から一年間のベンチ・マークテスト期間を置き, 昭和58年4月公開(JENDL - 3)することを確認した。
- (4) (3)のタイム・スケジュールで実行可能な仕事のスコープを議論した。
 - 中性子エネルギー領域 Eth - 20MeV
 - 対象とする核種に対する核データを isotopewise に入れる。
 - 対象とするガンマー線は即発及び核分裂ガンマー線とする。

- (5) 評価作業に必要な経費(計算機の使用料, 文献調査費, 交通費)に関する議論があった。昭和 55 年度は外注の件を検討する。
- (6) 次回までに, 川合, 河北, 吉田氏が対象とする核種のリスト・アップをする
(priority, 昭和 54 年度対象とする核種)
- (7) 核データ格納フォーマットを浅見(哲)氏が次回までに検討する。
- (8) 昭和 54 年度作業計画は次回に引続いて議論する。

(以 上)